

秋を楽しむ

9月に入り、日中はまだまだ暑いものの、朝夕は随分と涼しくなりました。教室を通り抜ける風も爽やかに感じますね。身体的に楽になると、不思議と意欲、食欲、学習欲が増してきます。夏の疲れをとりつつ、この後頑張りたいと思っていることに前向きになれる気がしてきますね。私たち日本人は、四季の移り変わりを感じ、それぞれの楽しみを生活に取り入れて暮らしています。「秋」が好きな人もそうでない人も、忙しい日々の中で、「秋」を楽しむ余裕を持って欲しいと思います。

○中秋の名月

中秋の名月というと、右のような満月が思い浮かびますね。実は必ずしも満月ではないし、日も決まっているわけではありません。今年は、10月4日に見ることはできますが、完璧な満月ではないようです。



○“おはぎ”と“ぼた餅”

写真では、お団子がお供えしてあります。私が育った家では、お団子ではなく母がおはぎを作ってくれました。新米の餅米でいただくと本当においしかったことを覚えています。ところで“おはぎ”と“ぼた餅”は、どう違うのですか？実は、違いはないそうです。春の彼岸に咲く“ボタン”の花にちなんでつけられたのが、“ぼた餅”、そして秋の彼岸に咲く“萩”の花にちなんでつくられたのが、“おはぎ”です。

○彼岸花



秋になると神通川の土手沿いに赤い花を一斉に広げる“彼岸花”ですが、皆さん名前を知っていましたか。別名を曼珠沙華（まんじゅしゃげ）といい、サンスクリット語で天界に咲く花という意味です。おめでたい事が起こる兆しに赤い花が天から降ってくる、という仏教の経典から来ています。サンスクリット語では manjusaka と書きます。

○ススキ

十五夜の月見には、萩と共にススキを飾ることが多いです。ススキの穂は、それを動物の尾に見立てて尾花（おばな）と呼ぶことがあり、ススキ自体もそのように呼ばれることがあります。奈良時代の歌人山上憶良が『万葉集』にて「萩の花 尾花 葛花 撫子の花 女郎花 藤袴 また朝顔の花」と詠んだように古来、秋の七草の一つに数えられています。秋の七草のうち、いくつわかりますか？

○秋ならではの楽しみ・・・芸術鑑賞

第42回富山県青少年美術展が9月9日から12日まで開催されました。本校からも多くの作品が出展され、多くの受賞がありました。それらの作品は、文化祭で掲示されるようです。秋には、感性が研ぎ澄まされて、作者の作品に込める思いが伝わりやすいような気がします。是非、文化祭を楽しみにして下さい。